

図書館利用者のみなさん 区民のみなさんへ

## 平成 18 年 4 月より 区立図書館 4 館にて委託開始！ 私たちはよりよい図書館を実現するため再陳情しました

10,659 筆の署名をいただいた陳情は **区議会でも一部、不採択** でした。

陳情要旨 5 項目	審査結果
1. 図書館のカウンター業務をはじめとする業務の委託はやめてください。	不採択
2. 資料費を増額し、利用者の期待にこたえられるよう資料を充実してください。	継続審議
3. 全館に知識と経験豊かな職員を配置してください。	継続審議
4. 図書館法に基づいて図書館協議会を早急に設置し、練馬区の図書館のあり方を協議してください。	継続審議
5. 利用者懇談会を開いて、利用者の声を運営に活かしてください。	継続審議
2～4項目は、12月2日取下げ、12月14日新しい陳情として提出しました。	

### 「業務委託をやめて」は多数決で不採択

平成 17 年 11 月 24 日文教委委員会で陳情審査の結果が出されました。1 項は多数決で不採択、他の 4 項目は継続審議となり、12 月 12 日本会議で確定しました。

### 民間委託事業者導入

平成 18 年度に練馬、貫井、春日町、大泉図書館のカウンターに民間委託事業者がはいります。区では 3 年間で全館に民間委託事業者を導入する計画です。

### 陳情取り下げと再陳情

陳情 4 項目 (2～5) は継続審議 (事実上の凍結) でした。理由は趣旨に対してではなく、委託反対が前提になっていると読める文章上の問題でした。ここで凍結させてはいけない。協議の上、採択を目指して再陳情する道を選びました。

### 再陳情の 4 項目は何れもよい図書館の要

よい図書館の要件は資料、情報、人 (意欲とキャリア)、建物です。陳情は区議会です十分審議されれば、全ての会派に理解される内容であり、採択されるよう力を尽くし

ます。

### カウンター委託に引き続き反対するの か？

平成 18 年度委託実施 4 館の実態をもとに、具体的な問題点を確かめ解決策を提言し、平成 19 年度からの委託計画の見直しを求めています。



### これからもご支援ください。

これからも当会は、よりよい図書館を目指し前進します。引き続きご支援ください。みなさまのお声は <http://betterlib.exblog.jp/> からもお寄せいただけます。

### 連絡先

よりよい練馬区の図書館をつくる会

事務局長 関日奈子

〒176-0024 練馬区中村 3-10-6

電話/FAX:3990-6327

**\* 詳細は裏面** 詳細は、裏面をご覧ください。

## 文教委員会の審議で「図書館協力員を中心にした図書館運営」が、

### 委託より優れていることが明らかになりました

#### サービスレベル低下(委託)の心配は拭えない

委託業務には資料相談もあり、「委託事業者従業員(時給800~900円)の定着率の低さによるサービス低下の心配」(裏付資料有)については、区は文教委員会の資料請求に応えることができず、何ら具体的説明もできませんでした。図書館協力員(区非常勤職員、平均勤続年数9.8年、司書資格者83%)のキャリアレベルとは比較するまでもありません。更に、17:15~20:00は委託従業員だけになり、安全管理上も手薄で心配です。

#### 経費節減も委託と同等以上

委託は、最も経費節減効果が高いといわれ

ますが、練馬区では図書館協力員制度(人件費300万円年)があり、委託と同等以上の経費節減ができます。この趣旨の文教委員会質問に対して、「図書館協力員の増員による対応は検討していない」との回答しかできませんでした。

#### 委託以外は検討していない

サービスレベル、経費節減共に委託より優れている「図書館協力員を中心にした図書館運営」を採らない理由を質問され「区の方針である委託化・民営化実施計画が図書館に有効かどうかを考えて取り組んだもので、…常勤職員数をはるかに超える非常勤職員を増員して対応することは考えていない。」と答弁しています。

## 再陳情の4項目は、どなたにも賛同いただけるものです

### 1 資料購入費の増額と資料の充実

貸出数が23区中2位の利用状況なのに、蔵書数(冊/人)は、22位です。利用の度合いにふさわしい資料購入を求めています。

### 2 知識と経験豊かな区常勤職員の配置

業務委託がはじまり、多くの事業展開が予定され、少数精鋭の常勤職員には、よりよい図書館運営やサービス向上のために、区民・利用者とともに考え、行動する旺盛な意欲と、業務遂行に必要な十分な資質・能力が求められます。

### 3 図書館法に基づいた図書館協議会の設置

中央館構想やITの飛躍的進展による図書館の様変わりなど、中・長期的な図書館のあり方の協議や、図書館サービスの評価をし、図書館の相対的地位の向上にも貢献していただきたいのです。区の文教委員会答弁は、はじめの「設置しなくても」から「今後の検討課題としてはあると承知しております。」と肯定的に変化してきました。

### 4 利用者懇談会の開催

利用者とのコミュニケーションを密にする場は、業務の委託化により、重要性を増します。

#### これまでの私たちの活動と区の動き

04年8月 「明日の図書館を考える集い」

9月

- ・シンポジウム「図書館の委託を考える」
- ・「よりよい練馬区の図書館をつくる会」創設
- ・「練馬区立図書館の委託化に反対し図書館の充実と発展を求める陳情書」を教育委員会と区議会に提出、12月末まで各図書館前で署名活動、団体グループへ署名協力を要請

11月 陳情書の補足説明書を提出

12月 交流集会「図書館のカウンターってどんなところ？」

05年1月 1万人署名へのお礼チラシ配布

4月 教育委員会は業務委託計画提出の即日、

陳情を一括不採択(5月正式通知)

6月 陳情不採択通知への説明要請を提出

7月 教育委員会陳情一括不採択の報告チラシ配布  
8~12月

- ・5回の文教委員会前に、各会派に陳情審議について文書を持参して十分な審議を要請
- ・文教委員会を毎回傍聴(延55人)
- ・文教委員会「業務委託をやめて」(陳情要旨1)を多数決で不採択(11/24)
- ・陳情要旨2~5を取下げ(12/2)
- ・取下げた4項目を新に陳情(12/14)
- ・再陳情は、第276号として文教委員会に付託(12/15本会議) (配布2006/01)